

# 事業評価票

<b>196</b>	<b>火山防災協議会等運営補助</b> (総務局総合防災部／一般会計)	事業開始	平成 28 年度
		事業終了予定	平成 — 年度

**【局評価】**

<b>1</b>	<b>どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>
<p>○ 平成23年12月に修正された防災基本計画の中で、都道府県は、国・市町村・公共機関・火山専門家等と連携し、火山防災協議会を設置するなど体制を整備するよう努めるものとされた。</p> <p>○ 防災基本計画の修正を受け、協議会の設置に向けた準備を進めていたところ、26年9月に発生した御嶽山の噴火も踏まえ、都内の常時観測7火山（伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島及び硫黄島）等における火山防災対策を推進することを目的として、27年2月に、国、町村、防災関係機関、火山専門家等からなる「伊豆・小笠原諸島火山防災協議会」を設置した。</p>	
<b>根拠法令等</b>	防災基本計画、活動火山対策特別措置法

<b>2</b>	<b>どのように取り組み、どのような成果があったか</b>
<p>○ 平成27年度から、地元関係者等で構成するコアグループ会議を上記協議会の下に順次設置し、避難計画の策定等に向けた具体的な検討を開始した。</p> <p><b>【設置状況】</b>          三宅島 27年6月設置          八丈島 同 8月設置          青ヶ島 同 8月設置          伊豆大島 同 9月設置</p>	

<b>3</b>	<b>どのような課題や問題点があったか</b>
<p>○ 協議会の設置主体として協議会を運営し、避難計画の策定等の取組を、複数火山で同時に進めていく必要がある。</p> <p>○ しかし、協議会の運営に当たっては、既存資料の収集・分析などに専門的な知識を要するとともに、国、町村や火山専門家などの多岐に渡る機関と調整を図る必要がある。</p>	

<b>4</b>	<b>局として、事業をどうしていきたいか</b>																
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px; border: 2px solid black; border-radius: 10px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他												
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他														
<p>○ 不足する専門知識の補完と、既存資料の収集・分析、データ整理や資料作成などの協議会運営に係る各種作業を委託することにより、協議会運営の効率化を図る。</p> <p style="text-align: center;">《直営と外部委託のコスト比較》 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 20%;">直営</th> <th style="width: 20%;">委託</th> <th style="width: 45%;">差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>74,927</td> <td>7,971</td> <td>△ 66,956</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>-</td> <td>66,823</td> <td>66,823</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74,927</td> <td>74,794</td> <td>△ 133</td> </tr> </tbody> </table>		区分	直営	委託	差引	人件費	74,927	7,971	△ 66,956	事務費	-	66,823	66,823	合計	74,927	74,794	△ 133
区分	直営	委託	差引														
人件費	74,927	7,971	△ 66,956														
事務費	-	66,823	66,823														
合計	74,927	74,794	△ 133														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;"><b>歳入</b></td> <td style="width: 15%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%;">— 千円</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;"><b>歳出</b></td> <td style="width: 15%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%;">— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td>28年度見積額</td> <td>66,823 千円</td> </tr> </table>		<b>歳入</b>	26年度決算額	— 千円	<b>歳出</b>	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	28年度見積額	— 千円	28年度見積額	66,823 千円		
<b>歳入</b>	26年度決算額		— 千円	<b>歳出</b>		26年度決算額	— 千円										
	27年度予算額		— 千円			27年度予算額	— 千円										
	28年度見積額	— 千円	28年度見積額		66,823 千円												

**【財務局評価】**

<b>5</b>	<b>財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>
<p>○ 都における常時観測火山は島に点在するという特殊性がある中、火山ごとの早期の避難計画策定に向けて、早急な対応が必要である。</p>	

<b>6</b>	<b>28年度予算で、どのように対応したか</b>						
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px; border: 2px solid black; border-radius: 10px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他				
<p>○ 会議の運営支援を専門知識を有する外部団体に委託することにより、コストの縮減を図りつつ、専門家の支援の下での早期かつ確実な各火山の避難計画策定が期待される。</p> <p>○ 以上を踏まえ、局見積額のとおり計上する。</p>							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: left;"><b>歳入</b></td> <td style="width: 45%;">28年度予算額</td> <td style="width: 40%;">— 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;"><b>歳出</b></td> <td>28年度予算額</td> <td>66,823 千円</td> </tr> </table>		<b>歳入</b>	28年度予算額	— 千円	<b>歳出</b>	28年度予算額	66,823 千円
<b>歳入</b>	28年度予算額	— 千円					
<b>歳出</b>	28年度予算額	66,823 千円					